SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

静岡大学浜松キャンパスの防災とICTによる学生への情報提供：地域貢献に向けた実態の解明（研究の進捗発表（シニア（大学4年生以上）, 新規発表））

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-08-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田中, 捺希, 秋元, 菜摘 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028324

研究の進捗発表（シニア（大学 4 年生以上），新規発表）

静岡大学浜松キャンパスの防災と ICT による学生への情報提供 -地域貢献に向けた実態の解明-

田中捺希（静岡大学情報学部情報社会学科），
秋元菜摘（静岡大学学術院情報学領域）

大規模災害のリスクが懸念されている近年では，被災者が避難生活を送る避難所へのニーズは多様化している．要配慮者への対応のみならず, 感染症対策などのリスクから，指定の避難場所以外の公共施設などを利用する分散避難も推奨されている．この状況下で静岡大学浜松キャンパスは，避難生活を送る場所には指定されていないが，多くの施設や電力源など，避難所として多くの人々に提供できる資源を有していると考えられる．過去の災害時における大学では学生が避難所運営に携わった事例もあり，大学は体制の強化に加えボランティアとしての学生の育成も求められている．学生への意識調査の結果，自宅の非常用の備蓄量や地域との関わりには不十分な面があり，学生の自助意識をより高めるための情報の伝達が必要であると考えられる．また，GIS による空間分析の結果から，居住地に合わせた避難行動計画を学生が自ら考えることも必要である．